
使っていた携帯（スマホ）が2年になるので、新しいものに買い換えました。以前はバッテリーが弱く、2日たったら真っ暗（残量ゼロ）。大阪へ遊びに行った時に、ナビとして使ったら宿に帰り着く前に「直ちに充電してください」のメッセージ。もう少しで迷子になるところでした。ところが新しいものは使わないと電池はあまり減らない。そこで、音楽用の iPod は廃止にし、音楽やポッドキャスト（音声番組）もスマホを利用しています。このように技術の進歩は早いものです。電池に関してみれば、ポータブルCDプレーヤー、ビデオカメラ、デジカメ、ノートパソコンといずれも重たい充電器や予備が必要なくなりました。そして、一度便利なものを手に入れると戻れなくなります。私たちが営んでる仕事も同様なものでしょう。しかしながら多くの経営者は、最新の技術系の仕事を行っている業種を除いては、経営環境の変化に対して細心の注意を払い準備しているところは少ないように見受けられます。「何とかなるだろう。ことが起きてから対策を考えよう。今は目の前の仕事で手一杯だ。」など。悪い例えですが、戦争で自分だけにはタマは当たらないだろうと考えるのと変わらない。本当に危ない経営を行っています。たとえ今、順調に行っても、次の商品、製品、サービスの準備を始めておくべきです。また売上が3割ほど落ちて、赤字にならない体制を作っておく。ベテラン社員が急に辞めても回っていく組織にしておく。取引先を集中させ過ぎないなど。順調であっても、あるいは何とか凌いでいる状況にあっても、経営環境の変化に備えておくことです。それができている企業は、強いと言えます。これから風邪の季節になりますが、手洗い、うがい、薄着をしない、予防接種をしておく、睡眠を十分取る、体調が悪いときは無理しない など個人レベルでの予防策は色々ありますが、経営も同様です。成功させるのは大変難しいが、大きな失敗は備えによってある程度防げる、あるいは最悪の事態を避けられるものです。

うちの事務所では、今月より週3回、朝8時からの勉強会を復活させました。（男性の正社員のみ）。先代の時から数十年続いていたものでしたが、精神論やトップやリーダーの心構えを、優れた先人の書物やテレビ番組の録画、教材テープから学ぶと言うものでした。それにより多少仏教に詳しくなったり、松下幸之助や本田宗一郎などの名経営者を知ることになりました。しかし、新人にとってはそれよりは、実務の教育が先だろうと言うことで、数年前に廃止し、それからは税法や財務諸表の活用法など実務面の教育に力を入れてきました。外部のセミナーなどにも参加する機会を増やしました。それはそれで、成果は上がっているのですが、若手社員の成長やコミュニケーションのギャップから、基本となる何かが欠けている。それを補うには、以前の勉強会で学んだような共通の基本、大げさに言えば文化が必要と言う意見がベテランの社員からもありました。効果が現れるのに時間はかかるとは思いますが、しばらくは続けて行くつもりです。ちなみに初回のテキストは、田坂広志著『仕事の報酬とは何か』PHP文庫です

以前紹介しています「魔法の質問マンダラチャート」に関連して、質問形式でマンダラ思考とマンダラ手帳の活用法を学ぶ「マンダラ思考ワークブック」が新しく発売されました。5冊セットで2500円です。詳しくは、(株)クローバー経営研究所 (<http://myhou.co.jp>)で